



884 & Co., Ltd.

Wine Bottle

ACCESSORIES

MADE IN JAPAN

ワインボトルアクセサリー

— 山梨県 長野県 —



リング ¥2,860 (税込) / ピアス ¥2,860 (税込) / イヤリング ¥2,860 (税込)

ワインの産地「山梨県・長野県」では、ワイン生産量が国内トップクラスで、山梨県は30%以上のシェア、長野県は20%以上のシェアとなります。

これに伴ってワインボトルの廃瓶もトップクラスとなるため、様々な団体がこの課題に向けてボトル再利用を試みるのですが、衛生面の問題や各生産者との折り合いがつかず、未だ問題解決には至っていないのが現状です。

このワインボトルの廃瓶の再活用して、ワインボトルアクセサリーを作りました。

廃瓶を細かく割って、ガラスの鋭利な部分はすべて熱加工を施し、金具パーツを取り付ける際に硬質樹脂でコーティングしているため、ガラス破損の可能性を極限まで抑えて仕上げております。

また、吹きガラスの技法を取り入れて、表面にヒビ入れを施したタイプもあります。こちらも同じく硬質樹脂コーティングを施しております。

色味は、クリア・ブラウン・ライトオリーブ・ダークオリーブ・グリーン・ピンクなどがあり、稀にクリアブルーやブラックなどが入ってくるときもあり、すべて1点モノです。

商品詳細はこちらです。



884 & Co. | ハヤシ・アンド・カンパニー 株式会社

Mashiko Pottery

ACCESSORIES

MADE IN JAPAN

益子焼アクセサリ

— 栃木県 益子町 —



リング ¥2,860 (税込) / ピアス ¥2,860 (税込) / イヤリング ¥2,860 (税込)

栃木県の益子焼は国内の陶器の中でも老若男女問わず人気があり、毎年開催される益子陶器市は、全国の陶器市の中でも屈指の混雑度と
言われています。その中で益子三大窯元と言われている中のひとつである、大塚幸内商店 折越窯(おつしがま)という窯元があります。

この大塚幸内商店は益子駅構内の展示用として益子陶器を象徴する「特大壺」を制作するなど、多くの地域貢献をされております。

この大塚幸内商店では多くの益子焼を焼き上げているのですが、この製造過程でうつわやマグカップにヒビ割れ歪みなどが
生じてしまったものは、製品化することが出来ず廃棄(有料処理)するしかありませんでした。

この益子焼の陶片をアクセサリ粒に適したサイズに割っていき、ひとつひとつを手作業で削り整え、硬質樹脂コーティングを施して手作りで
温かみのあるアクセサリに仕上げました。小さい粒ながらも彩り豊かな益子焼アクセサリ、1点モノのご縁をぜひお楽しみください。

(共同開発:有限会社大塚幸内商店 折越窯)

商品詳細はこちらです。



884 & Co. | ハヤシ・アンド・カンパニー 株式会社

Marble

ACCESSORIES

MADE IN JAPAN

大理石アクセサリー

— 山口県 美祿市 —



リング ¥2,860 (税込) / ピアス ¥2,860 (税込) / イヤリング ¥2,860 (税込)

山口県美祿市 秋吉台には、国内屈指の大理石採掘場があります。(大理石:おおよそ3億5千万年というとても長い年月を掛けて石灰岩が変成作用により結晶化した希少な天然石のこと。)こちらで採掘された大理石は、主に高級壁材として使用されており某議事堂や、銀座の某百貨店などの壁面などにも使用されています。大きな形状で採れた大理石は、壁材として使用できるのですが、50cm四方以下などのゴロゴロとした形状で採れた大理石は壁材として使用できず、石灰粉末にしてしまっておりました。この長い歴史から生まれた大理石の、色味やキラキラした結晶を粉末にはせず、少しでもカタチとして残し、日常使いできるモノにしたいと思い、この大理石アクセサリーが誕生しました。

大理石をアクセサリー粒に適したサイズ感に割っていき、角をすべて手作業でひとつひとつ整え、

硬質樹脂コーティングを施して仕上げています。

色は、白・グレー・ベージュ・ピンク・赤など様々でマーブル模様になっているのが特徴で、色や形状などが1点モノです。

(共同開発:山口県美祿市 安藤石材)

商品詳細はこちらです。



884 & Co. | ハヤシ・アンド・カンパニー 株式会社

Tortoiseshell

ACCESSORIES

MADE IN JAPAN

本べっ甲アクセサリー

— 長崎県 長崎市 —



リング ¥4,900 (税込) / ピアス ¥5,200 (税込) / イヤリング ¥5,200 (税込)
ぶら下げピアス ¥5,200 (税込) / ぶら下げイヤリング ¥5,200 (税込)

希少な海ガメ(玳瑁)の甲羅を職人による手業(てわざ)で厚みや色合いなどを調整して貼り合わせ、形成と磨きで「長崎べっ甲」が仕上がります。
長崎べっ甲を仕上げる際に出てしまう端材を余すところなく使用していきたいという想いから「本べっ甲アクセサリー」が誕生しました。

海ガメ(玳瑁:タイマイ)の本べっ甲海ガメ(玳瑁)の甲羅から作られた独特な美しさをもつ「べっ甲」は、海の宝石ともいわれています。

17世紀江戸時代から長崎の地で作られるようになり、約400年に渡り伝承される国指定の伝統工芸品です。

ワシントン条約により甲羅の国際間取引が禁止された現在、とても希少かつ高価な材料となっています。

(共同開発:有限会社 安田 — 長崎県長崎市 長崎鼈甲組合連合会 会員)

商品詳細はこちらです。



884 & Co. | ハヤシ・アンド・カンパニー 株式会社

Pearl

ACCESSORIES

MADE IN JAPAN

本真珠アクセサリー

— 三重県 伊勢市 —



リング ¥4,900 (税込) / ピアス ¥5,200 (税込) / イヤリング ¥5,200 (税込)

三重県 英虞湾では、真珠の良品を選別する際にごく僅かな突起などがある事で製品化されない本真珠があります。このような真珠も余すことなく使用していきたいという想いでこれを利活用すべく、伊勢の真珠職人が手作業で削り取っていきキレイな球体へ仕上げたこの「本真珠(アコヤ真珠)アクセサリー」が誕生しました。

三重県の英虞湾(あごわん)は、明治時代に日本初の真珠養殖発祥の地として発展し、昭和初期には「真珠湾」とも呼ばれMIKIMOTOの名と共に世界的に有名となりました。先人たちの技術は現在も三重県(伊勢志摩)の職人へと受け継がれ、この地でつくられる本真珠の品質は名高くファンの心を掴んで離しません。

(共同開発:三重県伊勢市 熊谷真珠)

商品詳細はこちらです。



884 & Co. | ハヤシ・アンド・カンパニー 株式会社

Cable
ACCESSORIES
MADE IN JAPAN

ケーブルアクセサリ

— 東京 秋葉原 —



リング ¥1,860 (税込) / ピアス ¥1,860 (税込) / イヤリング ¥1,860 (税込)

世界有数の電気街「秋葉原」愛三電気株式会社(1947年創業)との共同開発で、LANケーブルをつくる際に出る端尺や販売に適さない長さのケーブルを再利用してアクセサリへと生まれ変わりました。

(共同開発:愛三電気株式会社)

商品詳細はこちらです。



884 & Co. | ハヤシ・アンド・カンパニー 株式会社

Ash and Coal

ACCESSORIES

MADE IN JAPAN

灰と石炭のアクセサリ

— 新潟 JR新潟駅 (C57 180 蒸気機関車) —



灰 ピアス ¥2,860 (税込) / イヤリング ¥2,860 (税込)
石炭 ピアス ¥2,860 (税込) / イヤリング ¥2,860 (税込)

新潟を走る蒸気機関車 C57 180 で使用された石炭が燃え尽きた後の「本物の灰」や蒸気機関車の原動力となる

「本物の石炭」を使用してアクセサリを仕上げました。

JR新潟駅(JR東日本新潟シティクリエイト株式会社)との取り組みによって生まれたオフィシャル商品です。

JR 東日本商品化許諾済

商品詳細はこちらです。



884 & Co. | ハヤシ・アンド・カンパニー 株式会社

Scrap Fabric Pouch

ACCESSORIES

MADE IN JAPAN

インド綿の端切れポーチ

— 東京都 —



マチ付き S ¥1,350 (税込) / M ¥1,650 (税込) / L ¥1,850 (税込)
マチ無し S ¥990 (税込) / M ¥1,190 (税込) / L ¥1,390 (税込)

キルキーの布は、インド(ジャイプール)の熟練の職人の手作業で作られています。

小さな工場で日々、コツコツと作り上げられるテキスタイル。

それぞれにかすれやにじみ、色の濃淡が異なり、

人間らしいぬくもりと愛おしさにあふれた1枚に仕立てられます

職人が手掛けた貴重なデザインの生地で、どこをとっても素敵なこの生地を使用して、

日常使いにとっても便利なポーチを作りました。

その時に出たハギレを使用するのでデザインも様々。

ひとつとして同じモノはない一点物のポーチをぜひご愛用くださいませ。

(共同開発:株式会社ホリデー商店)

Mini Frame Purse

ACCESSORIES

MADE IN JAPAN

ミニがま口財布

— 東京都 浅草 —



ミニがま口財布 ¥1,200 (税込)

革職人の町「浅草」で、革製品を製作する際に出してしまう端材を使用して

ミニがま口をつくりました。

色や質感などは個性豊かで、その時の端材を使用するので色も様々。

お気に入りの1点をぜひ探してみてください。

(共同開発:株式会社エターナリイ)

884 & Co. | ハヤシ・アンド・カンパニー 株式会社